

1 職務研修

(1) トップリーダー研修

学校管理職（校長・教頭）として求められる学校運営能力や危機管理能力等のさらなる向上を図り、使命感と識見を高めるため、専門的・実践的な研修を実施した。

第1回 7月31日（金） 34人

講話：「私の学んだ経営哲学・マネジメント」

講師：株式会社京都放送 常務取締役（前京セラ株式会社鹿児島川内工場 工場長）

北川 信彦 氏



【内容】

- 1 社是
 - ・敬天愛人（常に公明正大 謙虚な心で仕事にあたり 天を敬い、人を愛し、仕事を愛し、会社を愛し、国を愛する心）
- 2 経営理念
 - ・全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること
 - ・人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力 考え方のファクターは＋と－があり、考え方次第で結果が変わる。
 - ・アメーバ経営＝マーケットに直結した部門別採算制度の確立、経営意識を持った人材の育成、全員参加経営の実現
 - ・京セラフィロソフィ＝人間として正しいと思うこと（公平・公正・正義・努力・勇気・博愛・謙虚・誠実）
 - ・大きな目標を思うこと＝思ったことは実現する。それは、思うことにより、人が努力するから、目標は実現する。
→経営哲学として、上記姿勢がないと企業は成長できない。

第2回 8月3日（月） 24人

講話：「学力向上とアクティブ・ラーニング」

講師：鳴門教育大学大学院 教授 前田 洋一 氏



【内容】

- 1 学力向上に向けて
 - ・学力向上に向けて、他校の良い取組が自校に合わない場合がある。子どもの実態に合っていないこと、世の中の変化が大きいことに起因する。教育ではそれを意識していかなければならない。
- 2 アクティブ・ラーニングについて
 - ・アクティブ・ラーニング＝答えを探す教育から答えをつくる教育
 - ・これからの教育に求められるもの
→コミュニケーション能力、独創性、問題解決力
子どもたちに自尊感情や決断力を育てたり、責任感を持たせたりすることが大切。
- 3 教頭として
 - ・子どもの実態、学校の実態を把握し、できることを考えていかなければならない。

第3回 11月24日(火) 29人

講話:「学力向上とアクティブ・ラーニング

～リーダーシップを発揮して推進するために～」

講師: 鳴門教育大学大学院 教授 前田 洋一 氏



【内容】

- 1 学校における組織マネジメント
 - ・「子どものため」という共通認識により、コストや時間を度外視しても「効果性」を重視する。企業は「効率性」を重視する。
 - ・学校の裁量権は少なく、組織力を向上させることで、見直しをもって、校務にあたることを意識する。
- 2 マネジメントの考え方
 - ・目標と手段が合致しているかを考えることが大切。
 - ・効果をあげるために、誰を動かせばよいか、その為にどうすればよいか、という発想を持つことが大切。
- 3 リーダーシップとは
 - ・優れた部下を持つことで、優れたリーダーシップを発揮できる。
 - ・学校運営とは学級運営と似ている。

第4回 12月10日(木) 29人

講話:「保護者対応のポイント」

講師: 近畿中央病院 メンタルヘルスケア・センター

副センター長 井上 麻紀 氏



【内容】

- 1 職員を元気づける存在になる
 - ・働きやすい職場環境づくり
 - ・「いつもと違う」部下への気づきと対応
 - ・部下の話をよく聴く
 - ・部下の職場復帰を支える
- 2 話の聞き方ポイント
 - ・敵とみなさない
 - ・訴えにも種類がある
 - ・初期対応が大事
 - ・「本当は何を訴えたいのだろう」と空想
 - ・こころは自由で
 - ・気持ちを短く伝える
 - ・目標・目的を共有しながら聴く
 - ・限界設定をする